第４１回（平成２８年度）
東葛地区親睦少年野球夏季大会

平成28年 8月6日･7日･11日･17日

優　勝　セントラルパークス
準優勝　根木内ヤングスターズ
第三位　北柏スーパーナイン
第四位　野 田 ジ ャ ガ ー ズ



主　催　東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会
協　賛　柏市･流山市･野田市･松戸市　各少年野球連盟
後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画
　　朝日スポーツキッズ



大会優勝旗



第４１回（平成28年度）
東葛地区親睦少年野球夏季大会

目　　次

第 41 回 東葛地区親睦少年野球夏季大会成績表 …… 1

大会概評 …… 2

ベスト4チーム（写真） …… 5

大会スナップ写真 …… 7

第 41 回 東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名 …… 16

東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト４ …… 17

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ …… 18

東葛地区親睦少年野球大会・開催要項 …… 19

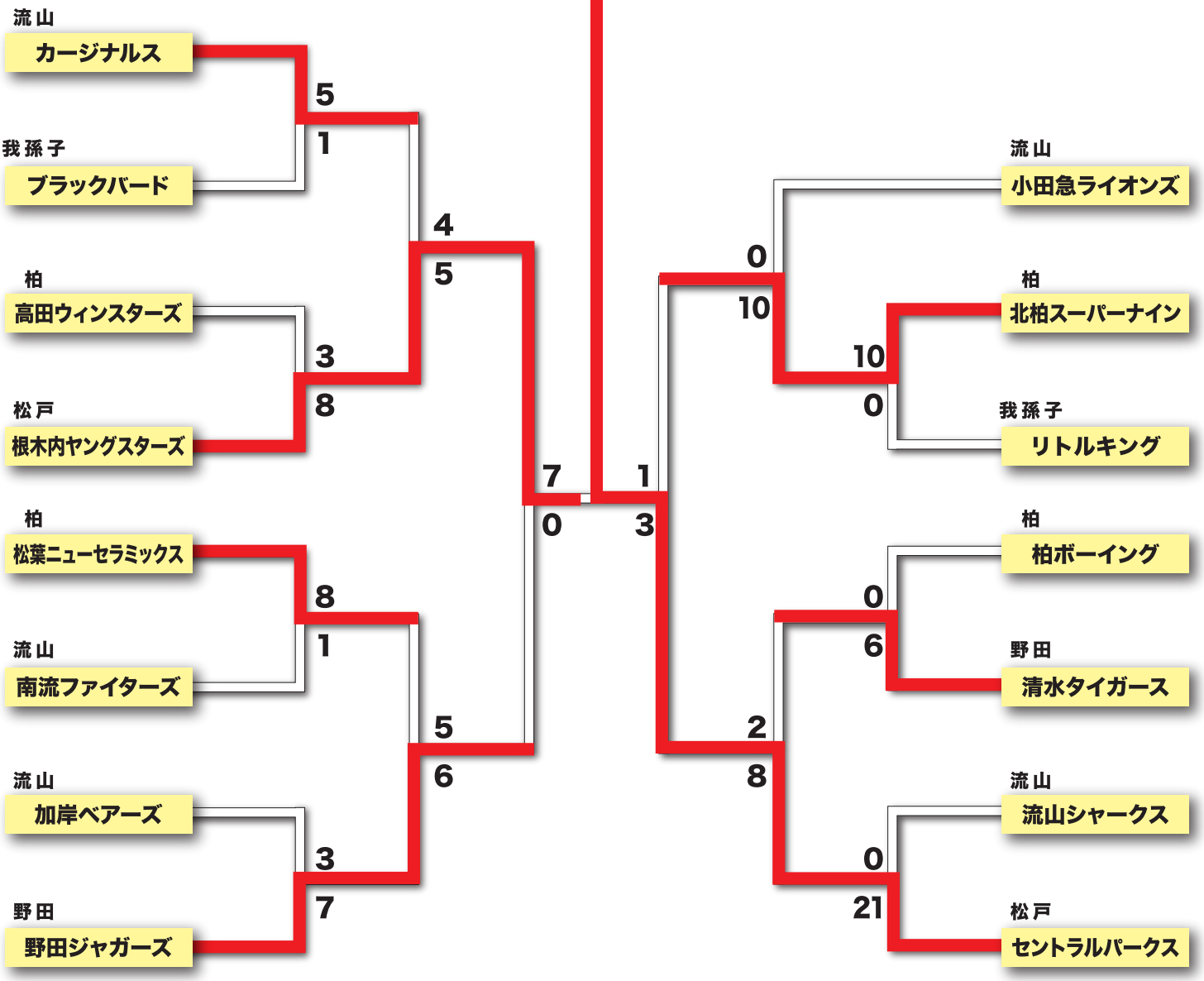
東葛地区親睦少年野球大会・役員名簿（平成 27 年８月改選） …… 21

第 41 回東葛地区親睦少年野球夏季大会会計報告 …… 22

＊ 写真提供は共同写真企画

第４１回東葛地区親睦少年野球夏季大会 成績表

決　勝　戦	1	2	3	4	5	6	7	計
セントラルパークス	0	0	1	1	0	1	0	3
根木内ヤングスターズ	0	1	0	0	0	0	0	1



３位決定戦	1	2	3	4	5	6	7	計
北柏スーパーナイン	2	0	0	0	1	0	0	3
野田ジャガーズ	0	0	0	2	0	0	0	2

☆ ☆ 大 会 概 評 ☆ ☆

セントラルパークス同地区対決制し優勝

準優勝ヤングスターズ、三位は北柏スーパーナイン

第４１回東葛地区親睦少年野球夏季大会は、平成２９年８月６日(土)、７日(日)、９日(日)、２１日(日)の四日間にわたって開催された。

今年度の大会は、当初開催を予定していた８月１１日(祝日)、１３日(土)、１４日(日)の三日間が、一部出場チームの県大会出場とその他の上部大会出場と重複することに加え、その他の諸事情などから、初めから開催を見合わせて、最終日は８月２０日(土)に決めて開催した。

しかしながら、最終日に決めた８月２０日（土）が生憎の雨天で開催できず、順延となった２１日(日)も野田河川敷グランドが前日来の雨の影響でグランドコンデション不良のため、急拠野田市の尾崎小に変更して最終日の試合を行った。なお、この日の予定は、ベスト４に進出したチームが準決勝戦と三位決定戦及び決勝戦を、同時に開催するハードな日程消化となった。

大会を振り返ると、今年度は県大会及び上部大会に出場するチームの一部が、予め出場辞退などがあって出場チームが激減、過去二番目に少ない１５チームの出場記録となってしまった。とは言え大会での試合は初日から熱戦が相次ぎ、大いに盛り上がった。

この結果、初日の１回戦を突破したのはカージナルス、根木内ヤングスターズ、松葉ニューセラミックス、北柏スーパーナイン、野田ジャガーズ、清水タイガース、セントラルパークスの各チームで、松戸地区と柏地区、野田地区からの出場チームが各２チームを占めた。この中では、セントラルパークス、北柏スーパーナイン、清水タイガースの３チームがそれぞれ圧勝して実力のあるところを見せた。

ベスト４進出を賭けた二日目（８月７日）の４試合は、カージナルス vs 根木内ヤングスターズ、松葉ニューセラミックス vs 野田ジャガーズ戦の２試合はともに接戦となって、根木内ヤングスターズと野田ジャガースが勝ち上がり、北柏スーパーナインは１回戦シードの小田急ライオンズに大勝して準決勝戦に進出した。

また、初戦を大勝したセントラルパークスと清水タイガースの２回戦での対決は、実力派同士で好試合が予想されたが、元気とパワーに勝るセントラルパークスが快勝してベスト４に進出した。

かくして根木内ヤングスターズ、野田ジャガーズ、北柏スーパーナイン、セントラルパークスがベスト４に進出し、この４チームによる準決勝戦は、８月２１日（日）野田市の尾崎小グランドＡＢ面で同時にプレーボール、続いて三位決定戦と決勝戦も行われた。

Ａ面の根木内ヤングスターズ vs 野田ジャガーズ戦は、序盤から互角の展開で好試合となった。根木内ヤングスターズが３回に１点を先制したが、４回までは両チームを通じて得点はこの１

点だけで緊迫感溢れる接戦となった。しかし、打線が好調のヤングスターズは、５回裏に一挙６点を奪って、そのまま時間となって快勝した。

Ｂ面のセントラルパークス vs 北柏スーパーナイン戦は、初回に１点を先制したセントラルパークスが、４回にも２点を追加して試合の主導権を握り、北柏スーパーナインの追撃を６回の１点だけに抑えて勝利、決勝進出を決めた。

決勝戦は根木内ヤングスターズとセントラルパークスの松戸地区同士の対決となったが、これは前年度の流山地区同士（カージナルスと流山ホークス）の対決と同様で、松戸地区のレベルの高さを証明した。と同時に試合は序盤から白熱したムードで盛り上がり、ヤングスターズが２回に６番高浪のタイムリー安打で先制すれば、セントラルパークスはすかさず３回に５番四方田のタイリー安打で同点とするなど、早々と１点をめぐっての緊迫感が充満した一戦となった。

そして、セントラルパークスが４回６番会津のスクイズで勝ち越し、さらに６回には３番小松のレフトオーバー超特大ホームランによって点差を拡げるととともに、絶対有利の態勢に持込んだ。

ヤングスターズはその裏一死二三塁のチャンスを掴んで必死の反撃を見せたが、ここは相手投手の交代（浜岡－加藤）にあって得点出来ず涙を飲んだ。

優勝したセントラルパークスの足跡を振り返ると、１，２回戦の快勝劇そのままに、準決勝戦の北柏スーパーナイン戦も制し、決勝戦は同地区同士の対決で相手の戦力、作戦も熟知していたこともあって、巧みなベンチワークで快勝した内容は素晴らしかった。これに対して惜敗したヤングスターズは最後まで諦めずに頑張ったが、一歩及ばなかったのが残念だった。

なお、野田ジャガーズと北柏スーパーナインとの三位決定戦は、北柏スーパーナインが初回に２点を先制して試合を有利に進めたが、野田ジャガーズが４回に２点を挙げて同点とし、決勝戦と同様前半から試合は盛り上がった。しかし、追いつかれた北柏スーパーナインは５回に１点を追加して勝ち越し、そのまま７回までリードを守りきって快勝した。野田ジャガーズは後半必死に反撃したが及ばなかった。

大会期間中に見舞われた雨の影響などで度重なる日程の延期を余儀なくされ、さらに最終日は、当初の予定だった野田河川敷グランドがコンデション不良だったことで、急拠ベスト４に進出した野田ジャガーズのグランドを借用して、何とか日程を消化することが出来た。

なお、この日の野田ジャガーズは、午前中は地域の大会があって２試合を消化していたため、今大会での２試合を加えると何と限界の４試合のハードな活動だった。この点については、今大会の日程が詰まって後がなかっただけに、グランド提供を含めて大会の消化に勤めてくれた同チームには感謝したい。と同時に改めて厚く御礼を申し上げます。

最後に今大会の反省と課題点を記しておく。大会が二日目以降最終日の開催まで種々の事情で間が開いたことについては、出来れば今後は例年通り連続した土曜日と日曜日の開催に戻すとともに、大会開催日についても再検討の余地があることを検討したい。さらに最終日については、三位決定戦と決勝戦のみとして、基本的にはダブルは行わないような日程を採用して行きたいと考えている。

また、参加チームの減少については、今回は一過性のものと理解しているが、この事実を踏まえて、次回以降には出来るだけ近隣市町にもＰＲして参加を呼びかけ、最少でも２５チーム以上の規模は継続して行きたいと考えている。そのためにも参加チームの意見などを広く取り入れて、より一層内容を高めたいと思っている。

以下は最終日の成績。

◆準決勝戦　平成２８年８月２１日（日）　野田市・尾崎小Ａ面

野田ジャガーズ	０	０	０	０	０	＝	０
根木内ヤングスターズ	０	０	１	０	６Ｘ	＝	７

▽審判：主審・小泉（大会役員）　塁審・徳重（リトルキング）、道前（小田急ライオンズ）、大久保（清水タイガース）　控え・豊田（大会役員）

◆準決勝戦　平成２８年８月２１日（日）　野田市・尾崎小Ｂ面

セントラルパークス	１	０	０	２	０	０	０	＝	３
北柏スーパーナイン	０	０	０	０	０	１	０	＝	１

▽審判：主審・豊田（カージナルス）　塁審・富吉（松葉ニューセラミックス）佐藤（高田ウインスターズ）、谷田（加岸ベァーズ）　控え・坂本（加岸ベァーズ）

◆三位決定戦　平成２８年８月２１日(日)　野田市・尾崎小Ａ面

北柏スーパーナイン	２	０	０	０	１	０	０	＝	３
野田ジャガーズ	０	０	０	２	０	０	０	＝	２

▽審判：主審・堀江（大会役員）　塁審・加納（大会役員）、石川（野田市少年野球連盟）　小林（野田市少年野球連盟）、　控え・小泉（大会役員）

◆決勝戦　平成２８年８月２１日（日）　野田市・尾崎小Ｂ面

セントラルパークス	０	０	１	１	０	１	０	＝	３
根木内ヤングスターズ	０	１	０	０	０	０	０	＝	１

▽審判：主審・八木澤（大会役員）　塁審・星本（柏市少年野球連盟）、豊田（大会役員）、鈴木（大会役員）　控え・浜田（大会役員）



喜びのセントラルパークスの選手達

2016 CHAMPION



優勝 セントラルパークス



準優勝 根木内ヤングスターズ



第三位　北柏スーパーナイン



第四位　野田ジャガーズ

開会式

平成28年8月6日　於：野田河川敷グランド



出場全チーム整列



山田会長





前年度優勝の
カージナルスより
優勝旗・優勝盃の返還

優勝旗・優勝盃
前年度受賞



元気に選手宣誓



前年度準優勝の
流山ホークスより
準優勝旗・
トロフィーの返還



前年度第3位の
セントラルパークスより
トロフィーの返還



準優勝旗・トロフィなど
チームからの返還

熱戦スナップ








6


13


4


Jaguars






Central
Central







受賞

平成28年8月
於･野田河川



優勝
セントラルパークス







準優勝
根木内ヤングスターズ

スナップ

21日
敷グランド





第3位
北柏スーパーナイン

第4位
野田ジャガーズ







根木内ヤングスターズ



北柏スーパーナイン

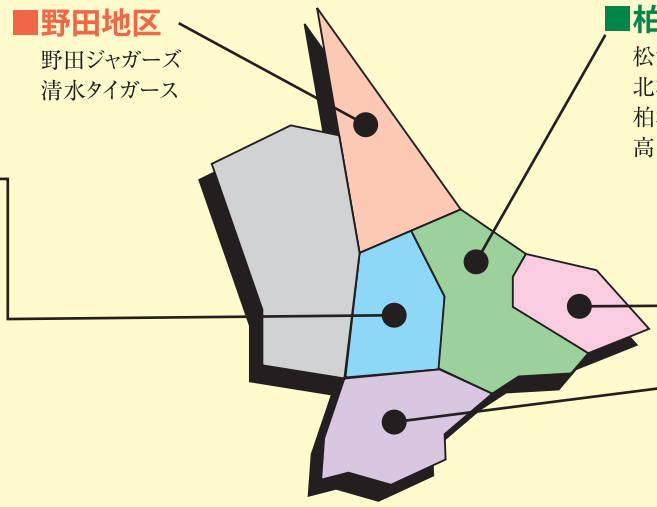


野田ジャガーズ





第４１回東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名



■野田地区
野田ジャガーズ
清水タイガース

■柏地区
松葉ニューセラミックス
北柏スーパーナイン
柏ボーイング
高田ウィンスターズ

■流山地区
南流ファイターズ
加岸ベアーズ
カージナルス
小田急ライオンズ
流山シャークス

■我孫子地区
ブラックバード
リトルキング

■松戸地区
セントラルパークス
根木内ヤングスターズ

東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4

回数	開催年度		出場チーム	優　勝	準　優　勝	第　三　位	第　四　位
1	1976	昭和51年	14	流山シャークス（流山）	ブラックバード（我孫子）	松ヶ丘（流山）	流山バード（流山）
2	1977	昭和52年	16	沼南ジャリーズ（沼南）	流山シャークス（流山）	高柳サンダース（沼南）	南部イーグルス（沼南）
3	1978	昭和53年	36	トライスター（柏）	四小レンジャーズ（柏）	沼南ロビンス（沼南）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
4	1979	昭和54年	48	北柏スーパーナイン（柏）	沼南イーグルス（沼南）	四小レンジャーズ（柏）	加台ボンバーズ（流山）
5	1980	昭和55年	34	トライスター（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	北柏スーパーナイン（柏）
6	1981	昭和56年	40	トライスター（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	リトルジャガーズ（我孫子）	リアノス（柏）
7	1982	昭和57年	46	沼南イーグルス（沼南）	四季野はやぶさ（流山）	リアノス（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）
8	1983	昭和58年	47	リトルジャガーズ（我孫子）	トライスター（柏）	豊四季イーグルス（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
9	1984	昭和59年	61	Aブロック 布施リトルジャイアンツ（柏）	中新宿ウイングス（柏）	トライスター（柏）	千代田ファイターズ（柏）
				Bブロック 松葉ニューセラミックス（柏）	流山シャークス（流山）	カージナルス（流山）	平井ビクトリー（沼南友軍・東京）
10	1985	昭和60年	62	リトルキング（我孫子）	四小地区少年野球クラブ（柏）	大津ヶ丘ファイターズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
11	1986	昭和61年	46	高野台ジャガーズ（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）	沼南ジャリーズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
12	1987	昭和62年	48	トライスター（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏友ジャニーズ（柏）	リアノス（柏）
13	1988	昭和63年	48	柏友ジャニーズ（柏）	江戸川台アトラス（流山）	野田ヤンキース（野田）	トライスター（柏）
14	1989	平成元年	47	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	トライスター（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
15	1990	平成2年	60	柏ヤンガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	豊四季イーグルス（柏）
16	1991	平成3年	55	高野台ジャガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏ヤンガーズ（柏）
17	1992	平成4年	51	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）
18	1993	平成5年	56	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	トライスター（柏）
19	1994	平成6年	58	名戸ヶ谷アトミック（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	ありんこアントス（流山）	リトルベアーズ（松戸）
20	1995	平成7年	50	南部少年野球クラブ（鎌ヶ谷）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	リトルベアーズ（松戸）	フェニックス（鎌ヶ谷）
21	1996	平成8年	46	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	流南ベアーズ（流山）
22	1997	平成9年	42	清水タイガース（野田）	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	小金原ビクトリー（松戸）
23	1998	平成10年	42	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズA（流山）
24	1999	平成11年	42	牧の原ジュニアーズ（松戸）	西原アローズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	泉ライオンズ（流山）
25	2000	平成12年	32	初石クーガーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	リトルベアーズ（松戸）
26	2001	平成13年	38	松葉ニューセラミックス（柏）	加岸ベアーズ（流山）	前ヶ崎クラブ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
27	2002	平成14年	33	初石クーガーズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	南流ファイターズ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
28	2003	平成15年	50	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	東部フェニックス（野田）	清水タイガース（野田）
29	2004	平成16年	50	初石クーガーズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
30	2005	平成17年	31	初石クーガーズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	新栄ファイヤーズ（柏）
31	2006	平成18年	46	ヤングスターズ（松戸）	久寺家エラーズ（我孫子）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
32	2007	平成19年	35	大津ヶ丘ファイターズ（柏）	小田急ライオンズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	串崎スワローズ（松戸）
33	2008	平成20年	34	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）
34	2009	平成21年	30	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）	南流ファイターズ（流山）
35	2010	平成22年	34	高野台ジャガーズ（柏）	高田ウィンスターズ（柏）	ブラックバード（我孫子）	ヤングスターズ（松戸）
36	2011	平成23年	35	加岸ベアーズ（流山）	ヤングスターズ（松戸）	新木ファイターズ（我孫子）	梅郷パワーズ（野田）
37	2012	平成24年	35	小田急ライオンズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
38	2013	平成25年	25	串崎スワローズ（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	東部フェニックス（野田）
39	2014	平成26年	20	セントラルパークス（松戸）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）
40	2015	平成27年	21	カージナルス（流山）	流山ホークス（流山）	セントラルパークス（松戸）	高田ウィンスターズ（柏）
41	2016	平成28年	15	セントラルパークス（松戸）	根木内ヤングスターズ（松戸）	北柏スーパーナイン（柏）	野田ジャガーズ（野田）





東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声を挙げる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降、毎年８月中旬の三日間に実施してきた。グランドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（現カリフ少年野球大会会長　元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和５６年から昭和ゴムが主催しているＳＧ大会と提携して、同社のグランドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年８月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場は６１チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和５７年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、６０年には出場チームの総数が６２に達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、規模の拡大をみるとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、ここ数年は大会の運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数３０チーム前後に定着して来た。

大会の発展にともない、平成２年には創立１５周年記念パーティー（会場は昭和ゴム）も開催したが、この年に松戸市からの正式な出場も加わり、さらに平成１４年には埼玉県三郷市からも出場があった。

なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業などには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、５５年から５７年までは鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年１２月に開催している冬季大会は、平成５７年に卒業記念大会として６年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会で近年定着している。

平成１０年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成１４年から正式に後援に加わった。さらに平成１６年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。なお、昭和６０年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（ＳＧボール）は、ボールの生産を中止したため、平成１８年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正
平成24年一部改定

大　会　名　夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
　　冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
主催・主管　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
後　　援　ダイワマルエス株式会社
　　柏リトルシニア野球協会（但し、冬季大会のみ）
　　朝日スポーツキッズ　株式会社 共同写真企画
開催期間　夏季大会：毎年８月中旬を初日とする三日間で開催する
　　但し、雨天などで中止となった場合は、予備日を設け行う。
　　冬季大会：毎年１２月の第一週を初日として開催する。
　　但し、雨天などで順延になった場合は予備日を設け行う。

目　　的　東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。

出場資格　夏季大会：単独チームで３年生から６年生までの編成によるＡチームのみ。
　　但し、メンバー多数で２チーム出場希望の場合は、役員会に図り承認され場合に限り認められる。
　　冬季大会：メンバーは全て６年生のみとし、単独チームが編成できない場合には４チームまでの混成が認められる。
　　メンバーが多数の場合は２チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督,コーチ,選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。

参加チーム　夏季大会は原則として限度６４チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。

参加会費　原則として、１チーム5,000円。（但し､特別処置として変更する場合がある。）

使用グランド　江戸川河川敷グランド(野田市)、柏シニアグランド（柏市）その他各チームから提供されたグランド。

審判当番　①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
　　不履行の場合はペナルティ（失格・次回からの出場停止・その他）が課せられる。
　②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
　★審判当番者は試合開始に際して、必ずグランド整備（準備）をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。
　③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
　④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
　⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし､ローテーションは以下の通りとする。
　a.一日一面で4試合が行われる場合。
　　第一試合の審判は第二試合のチーム､第二試合の審判は第一試合のチームが担当する｡第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
　b.一日一面で4試合の場合(第三試合･第四試合にシードチームが入った場合)。
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが､第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
　c.一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)｡殆どが初日の試合
　　第一試合の審判は第三試合のチーム､第二試合は第一試合のチーム､第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
　d.一日一面で3試合の場合(勝利チームがダブルヘッダーの場合)｡大会二日目
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合については第一試合･第二試合の負けチームが行う。(通称:負け残り審判)。
　e.その他組み合わせが変則となった場合大会本部役員で協議し､別途指示する。

⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード（記録用紙）に、得点経過・審判氏名（フルネーム・チーム名）の記入を義務付ける。

◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グランド責任者に提出する。グランド責任者は速やかに事務局に報告してください。

大会規定　最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定（含むグランドルール）を適用する。

①全試合7イニング制とする。（但し、時間・コールドゲームを適用する。）

②試合時間はシートノックを除き1時間30分。それ以上経過して同点の場合は特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)を適用する。なお、シートノックは各チーム5分以内とする。

③コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差で成立する。
但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。
なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。

④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。
7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。

⑤その他、グランドルールは当該グランドの特別ルールを適用する。

⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

⑦大会使用球は、マルエスボールC号。

（投手の投球回数を一試合5イニング（15アウト）までとし、一日10イニング（30アウト）までとする。

◆冬季大会＜卒業記念大会＞特別規則　［六年生大会］

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。
指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。
指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかいない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表彰　優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞は原則としてなし。

補足事項　1.服装は選手及び指導者ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。
但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。

2.選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。
ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチャーともに着用する。
捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

3.冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンバー、グランドコート着用でのプレーが許される。

4.応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員（試合当事者でも可）は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。

5.夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。
（ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1～2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。）
※試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。

6.開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗（規格は特に定めない）を持参すること。

7.入場式では、出場チームの指導者1名（ユニホーム着用）は必ず最後尾に参列する。

8.抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。

9.シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。

10.グランド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。
（バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ・得点版・チョーク）。

東葛地区親睦少年野球大会役員名簿

（平成２７年８月改選）

会長	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟役会長
副会長	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部部長兼務		
審判部部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	
審判部副部長	川口祐司	松戸市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	今野正博	野田市少年野球連盟役員
会計監査役兼務		
運営委員(事業部担当)	八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	豊田穣	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	岡野誉	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	八木澤巖	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
運営委員(審判部担当)	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	居倉諭	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス東京営業所長

第41回　東葛地区親睦少年野球夏季大会　会計報告

◆収入の部　合計　¥84,666

大会参加費	@5,000×15チーム	¥　75,000
ボール販売手数料		¥　3,000
第40回大会よりの繰越金		¥　6,660

■寄贈品　㈱ダイワマルエス　(ボール4ダース)

◆支出の部　合計　¥114,250

＊大会運営費	¥　32,600
参加賞用ボール代	¥　21,600
審判員昼食・飲み物代	¥　9,000
グランド整備お礼その他	¥　2,000
＊賞状・トロフィー代	¥　19,190
賞状	¥　10,000
トロフィー代(ツクシ(大金平)【TO-3088-B,C,D,D+文字代】)	¥　9,190
＊資料代（印刷・製本）	¥　50,000
HP用掲載データ作成	¥　30,000
冊子用プリント代	¥　20,000
＊事務局経費	¥　12,460
抽選会場費　その他	¥　2,460
HP管理・チーム連絡費	¥　10,000

収入 ¥84,666円−支出 ¥114,250円=収支合計　▲¥29,584円は第42回大会に繰り越します。

平成28年8月22日　会計担当　平田　宗久

平成28年8月24日平田会計担当から提示されました、平成28年度会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。平成28年9月1日

会計監査担当　今野　正博

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX 04-7197-0115

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ